

## 会議結果のお知らせ

### 開催した会議の名称

別府市図書館・美術館整備構想策定等支援業務委託検討委員会 第2回会議

### 開催日時

平成30年8月30日（木）13:30～15:35

### 開催場所

別府市役所5階 教育委員会室

### 出席者

委員 塚田俊三、中野伸哉、中山昭則、平石栄二、阿南寿和、原田勲明、稲尾隆  
事務局 高橋修司社会教育課長他2名、受託事業者 OpenA3 名

### 次第及び議題

#### 次第 ①

- (1) 事業推進方針について ②
- (2) 年間スケジュールについて  
・住民参加型の企画について
- (3) 用地選定にあたっての基本的な考え方について

### 主な審議内容及び会議録の概要

次第に基づき、議題について事務局から説明し、委員から意見を徴した。

#### 【発言要旨】

##### 1 事業推進方針について

- 別府市ならではの施設として全国に発信していくため、他の施設との差別化を図るとよい。
- 20世紀における図書館は本がアーカイブされているだけの空間だったが、最近の図書館は本があることを介して、市民が交流し、人々を呼び寄せる、アーカイブからコミュニティの場へとその価値観が変容してきている。
- 一方で、民間とのパートナーシップが強すぎるとの議論があるのも事実である。

- 賑わいを創出する場としてはいいと思うが、一方で知識の宝庫や拠点としての機能も持ち合わせてほしい。今後の未来を考えるうえでは何か核となる施設が必要に思える。
- 他自治体との比較や、蔵書や規模に関する公の基準を参考に、まずは基準を満たすべき。それから+ $\alpha$ のコンテンツの検討に入るほうが望ましい。
- 平成29年度における別府市立図書館登録者数が約25,000人で約12万人の市民の21%程度である。本の回転率自体も1.2%程度しか動いていない。まずは基本的な機能を維持しつつ、市民が気軽に本を手にとり、交流を生む機会を創出し、これらの数値を上げることが肝要である。
- 重要なのは立派な図書館を造ることではなく、市民の生活が向上することである。どんどん動くトレンドにマッチし、アップデートしていける施設を若い世代から高齢者までもが一緒につくりあげていけると良い。
- これまでの図書館のような静かなスペースと、新たな機能をもった活発なスペースなど、市民によっては求めるスペースがそれぞれ異なるので、ハイブリッドしていけばよい。

## 2 年間スケジュールについて

- 住民参加型の企画を実施する趣旨は、行政のみで作る施設ではなく、市民が自分ごととしてコミットできる構想であるという意思表示をしていくためである。市民からのアイデアを募る。11月実施を想定している。
- 市民が要求でなく、自分なら「こういう参加ができる」という能動的な関わりを創出する機会になるとよい。
- 具体的な機能を与件として提示しなければアイデアが出づらい。
- 市民としてはどこに建つのか、どの規模なのかがイメージできないと、アイデア提案もできないのではないかな。

## 3 用地選定にあたっての基本的な考え方について

- 新たな図書館美術館の構想に合致するものにすべきである。